

徳島県教育委員会指定管理候補者選定委員会

質疑応答

- 委員
申請者
コロナの影響を受けたと思うが、来場者数や売上は前年度対比でどのようなものか。
来場者数は、ここ5年間、実人数で1万5千人程度であったが、令和2年度は実人数で約3分の1の5千人程度であった。宿泊利用が減っており、延べ人数ではさらに減少している。売上については、10分の1に近い数字である。
- 委員
申請者
今年の夏はどのような状況か。
小学校の利用が5月当初から始まるが、利用の延期が続いていた。そのような中でも少人数の家族利用もあり、無理のない安全第一の運営に心がけ、小規模のイベントも開催してきた。夏休みに入り状況も緩和され、県外からの利用や家族での利用も増えたが、人数的には例年に比べると少ない状況である。
- 委員
申請者
安全管理についても詳細に書かれているが、これまで水辺の事業で大きな事故はなかったか、またあればどう対処されたか。
大人も子どももライフジャケットの装着を徹底するとともに、安全管理スタッフを配置したくさんの目で安全監督をしており、命に関わる事故は防げている。
けがなどにも早急に手当を行っている。日赤の救急指導員の資格も持ち、スタッフへの教育面でも充実している。
- 委員
申請者
コロナ禍において、従業員に対してどのような対応をされたか。一昨年4月の労働関係法の改正に基づき何らかの処置をされたか。また、指定管理を受託した14年間で、少年自然の家の円滑な発展に向け基金を積んでいるか。
内部留保については、グループとしてしっかりと獲得している。労働環境については、有給休暇の取得やベースデー休暇などを設けて、社員の福利を担ってきた。
- 委員
申請者
業務のない日は、どうされたか。
環境整備や業務内容の確認等を行った。オンライン機器の活用に向けた研修も行った。
ホームページに掲載する事前学習用の動画の作成にも取り組んだ。
- 委員
申請者
大雨に対して、施設の傷みなどなかったか。
部分的な雨漏りがあるが、その都度修繕している。
- 委員
申請者
来所中の台風等への備えはできているか。
安心できる場所の確保はできている。台風の状況も見ながら、活動を見合わせることもある。雨の日の活動については、今後充実させていきたい。
毎朝施設の点検を行い、発見したらすぐに修繕して安全を確保する体制を取っている。
- 委員
申請者
毒ヘビやハチに刺された場合の医療体制はどうなっているか。
活動前に写真を見せるなどして注意喚起している。事前点検して発見したものはすぐに駆除している。万が一ハチに刺された時の薬剤も用意している。
- 委員
申請者
毒ヘビにかまれた場合はどうする。
海部病院へ搬送する。近隣の医療機関とも常に連絡を取っている。

